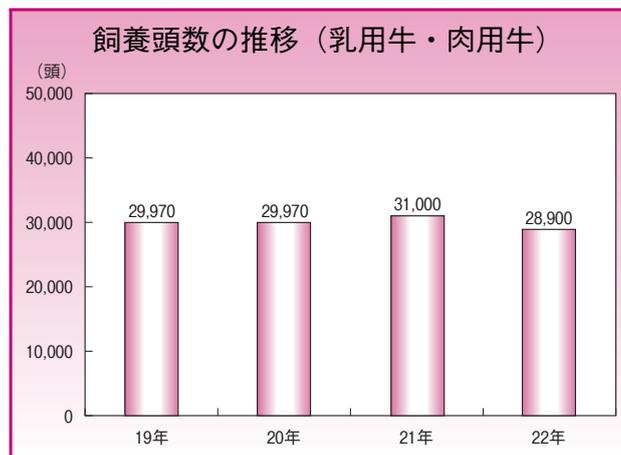
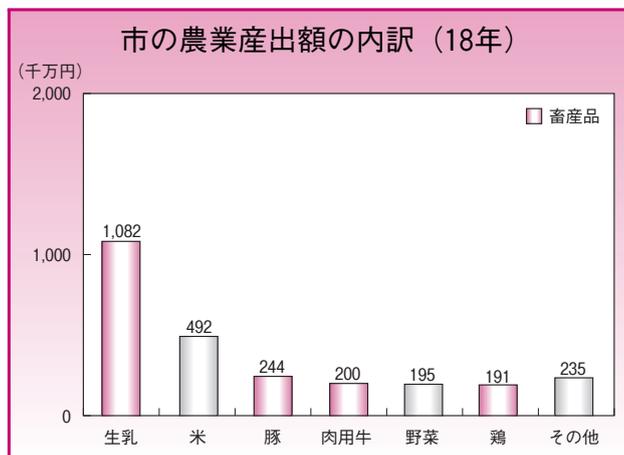


## 基本施策 5-③ 畜産業の振興

### 現状

生乳産出額\*が全国第4位、本州では第1位を誇る畜産業は、本市を代表する基幹産業です。しかしながら、牛乳の消費量が全国的に低迷を続けるなど、その経営環境は厳しいものがあります。



### 課題

- ・ 自給飼料の確保
- ・ 循環型農業\*の確立
- ・ 畜産品のブランド化
- ・ 家畜伝染病の対策

### 目指すべき方向

(1)安定した畜産経営の実現と、「生乳生産本州一のまち」のPR

### 基本施策 目標指標

家畜飼養頭数  
(乳用牛・肉用牛)

基準値（平成22年度）  
**28,900頭**



目標値（平成28年度）  
**31,000頭**

市民満足度

基準値（平成22年度）  
**54点**



目標値（平成28年度）  
**59点**

※市民満足度は、「満足している」100点、「やや満足している」75点、「どちらともいえない」50点、「やや不満である」25点、「不満である」0点とした時の全回答者の平均得点

\*生乳産出額：搾ったまま殺菌・加工をしていない牛乳の出荷額を金額で表したものの。

\*循環型農業：家畜排せつ物や生ゴミなどの有機性資源を農地に還元し、安全で良質な農産物を生産する農業形態。

\*乳用牛群検定組合：農家の飼養する牛の乳量・乳質や繁殖成績などを記録しフィードバックすることで、乳質の改善、乳用牛の改良や経営の向上を目的とする組織。

\*肉牛枝肉研究会：肉牛の生産技術の確立や肉質改善などを目的とする研究会のこと。

## 具体的な施策

### (1)-1 自給飼料の確保

自給飼料の安定確保を図るため、草地の造成や整備を促進するとともに、収穫機械などの導入の支援に努めます。

**主要事業** 自給飼料増産事業

**目標値** 飼料作付面積

現状(平成22年度)

2,260ha



目標(平成28年度)

2,410ha



### (1)-2 家畜の改良・増殖

優良牛を生産するため、優良雌牛の導入や優良精液の利用促進とともに、乳用牛群検定組合\*や肉牛枝肉研究会\*への支援を強化し、家畜の改良・増殖を促進していきます。

**主要事業** 乳用牛群改良促進支援事業

**目標値** 乳用牛飼養頭数

現状(平成22年度)

23,500頭



目標(平成28年度)

25,000頭



### (1)-3 資源循環型農業の推進

畜産環境の改善を図るため、堆肥化施設の整備とともに、生産された堆肥の利用促進を図り、資源循環型農業の推進に努めます。

**主要事業** 堆肥センター管理運営事業

**目標値** ふん尿及び生ごみ搬入量

現状(平成22年度)

11,204t



目標(平成28年度)

19,470t



### (1)-4 作業の効率化・低コスト化

畜産経営の効率化・低コスト化と仔牛の哺育・育成の充実化を進めるため、牛舎・育成舎や哺乳口ポットの整備・導入を促進していきます。

**主要事業** 畜産担い手育成総合整備支援事業

**目標値** 酪農家・和牛農家戸数

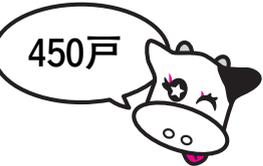
現状(平成22年度)

510戸



目標(平成28年度)

450戸



### (1)-5 畜産振興対策の推進

畜産経営の安定化を図るため、家畜伝染病対策事業として予防注射などへの助成を行います。また、畜産への理解や畜産品の消費拡大を図るため、畜産フェアなどのイベントの開催に努めます。

**主要事業** 那須塩原市畜産振興会運営事業

**目標値** 畜産農家戸数

現状(平成22年度)

528戸



目標(平成28年度)

465戸



自然と共生する  
まちづくり

快適で潤いのある  
まちづくり

健やかに安心して暮らせる  
まちづくり

安全で便利な  
まちづくり

活力を創出する  
まちづくり

豊かな心と文化を育む  
まちづくり

創意と協働による  
まちづくり